



令和8年8・9月号
宇部市立川上小学校

全校356名 14学級

学校ホームページ



日々更新中

川上っ子の成長を願う熟議は、素敵な時間となりました

川上小中合同熟議の開催 ～川上っ子のよりよい成長のために～

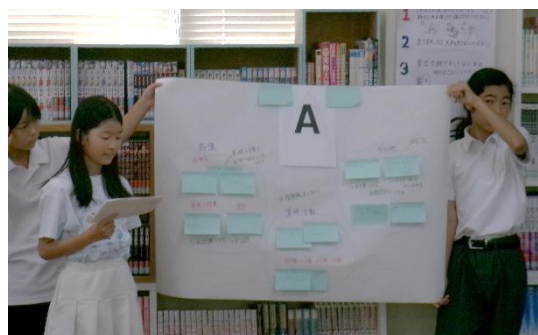
7月27日（月）に川上中学校で熟議が行われました。川上小からは、高学年を中心とした児童11名、保護者、教職員による参加のもと、学校運営協議会委員、中学生、中学校教員とともに「小中連携の充実（一小一中のメリットを生かして）」について話し合いました。

今年度すでに新たな取り組みとして、中学生ボランティアによる運動会テント設営、プール準備を助けてもらったほか、6年生がリーダーシップについて中学校3年生にインタビューをして学ぶ機会を設けました。小学生にとっては、憧れの存在である中学生から学



ぶことがたくさんあり、中学生にとっても、インタビューを受ける中で自分が取り組んできたことやがんばってきたことを整理するよい機会になったようです。

このような双方にとって学びが充実するような場をほかにもつことができないか、70分間にわたってアイデアを出し合いました。出されたアイデアをいくつか紹介します。



- 小中合同清掃 □部活動体験 □南蛮踊りを小中一緒に踊る □中学生が小学生に授業する
- 小学生の授業に中学生が助っ人で入る □委員会活動のコラボ □職業講話を一緒に聞く
- 図書委員の取組として読書対決を小中対抗で行う □中学校の授業を小学生が見に行く

熟議の様子を見ながら、「川上っ子の健やかな成長を願っている」皆さんの思いに触れることができ、その背景には「川上を愛する心（川上PRIDE）」があることを感じました。今回は、代表児童のみ参加でしたが、このような地域の方々の思いや願いに触れる機会を、今後とも、教育課程（カリキュラム）の中で意図的・計画的に設けていきます。2学期以降に出された意見を中学校との連携のもと、いくつか実現していきたいと考えています。ご参加していただきました保護者や地域の皆様、暑い中、またご多用の中、熟議に参加していただきまして誠にありがとうございました。

長い夏休みを経て、2学期が始まりました。学校に子どもたちの声が響き渡り、活気も戻ってきました。2学期もこれまでと変わらず学校へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

校長 桑原 たいき 泰樹

令和８年度【前期】 学校評価アンケートの結果

A：あてはまる B：だいたいあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

質問項目	児童(357名)%				保護者(回答数 272名)%			
	A	B	C	D	A	B	C	D
①学び合い	45	46	7	2	60	38	3	0
②学習の理解（児童：自分の言葉で説明）	37	40	20	3	25	63	10	3
③家庭学習	60	28	10	2	40	49	9	1
④読み・書き・計算	53	37	7	3	26	60	12	2
⑤読書	46	18	24	12	15	21	45	18
⑥あいさつ（児童：チャレンジ目標）	57	31	10	2	29	54	23	3
⑦人を大切にする行動	50	38	10	2	23	59	17	1
⑧きまりを守る	62	33	4	1	39	56	4	0
⑨いじめをしない	70	26	3	1	46	49	4	0
⑩学校・学級がよりよくなる活動	45	44	9	2	9	42	34	16
⑪早寝・早起き・朝ごはん	48	34	15	3	37	50	12	1
⑫健康に気をつけた生活	58	32	9	1	42	47	10	1
⑬メディアの適切な利用	44	33	15	8	21	50	22	6
⑭安心安全な学校（児童：楽しい学校）	59	28	8	5	41	55	3	1
⑮コミュニティスクール（児童：川上が好き）	64	28	5	3	26	68	6	0
⑯掃除	57	35	6	2	19	50	28	3
⑰学校、先生への相談	47	32	14	7	34	59	7	1

7月に実施しました令和8年度前期の学校評価の集計が終わりましたので、ご報告します。今回の結果をもとに、二学期からの教育活動がより一層充実し、児童の成長に結びつくように取り組んで参りたいと思います。ご協力ありがとうございました。

- 昨年度より、全校で取り組んでいる学びタイム（学習の基礎・基本となる内容）や日頃の授業（友達との学び合い）について、児童が意識して取り組んでいる様子が見られました。今年度は、児童が自ら学習を選択し、友達と学び合いながら、自分のペースで課題に向かい、分かったことを自分の言葉で説明していくことができるような学習に取り組んでいきます。
- きまりを守ることやいじめをしないことなど、集団の中で人と関わり合って過ごしていく上での大切なことはよく意識して学校生活を送っていることがわかります。子ども達の周りの身近な大人（保護者、地域の方、中学生、教師等）の姿をモデルにしているからだと考えます。
- コミュニティスクールを通して、地域連携や小中一貫教育などをさらに進めていくことが課題です。ふるさと川上の未来を創る子どもたちになってくれるように、保護者の皆様、地域の皆様とともに、地域連携カリキュラムをさらに進めていきたいと考えています。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

「川上小ホームページ」で、学校情報を随時発信中です！ どうぞご覧ください。